



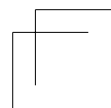
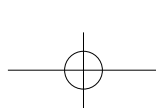
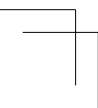
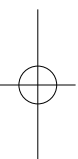
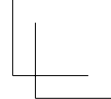
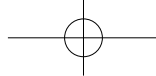
こんにちは

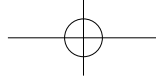


無形文化遺産

北京市文化観光局



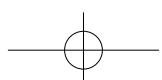




北京市文化觀光局

無形文化遺產







前書き

人のことを知りたいと思ったら、彼女の服装を観察したり、彼女の好きな食べ物を見たり、彼女の好きな歌を聞いたり、彼女の部屋の工芸品を見たりすることができる…とにかく、彼女の生活の中に入らなければいけない。

都市のことを知りたいと思ったら、どうでしょうか？

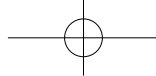
無形文化遺産は、都市の生活の中に入れることができる。

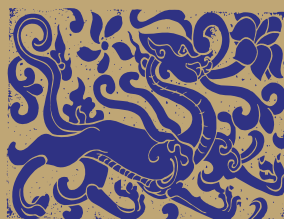
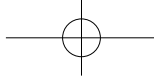
中国北京は、3000年の歴史がある古い都市で、グローバルで最も多くの世界文化遺産と無形文化遺産を保有している都市である。ここには、人類歴史で最大の単一建築物「長城」、世界最大の宮殿「故宮」、現存の世界最大の皇室庭園「頤和園」…などの驚きた世界文化遺産があることをご存知かもしれませんが、ご存知でしょうか？北京には数百年、更に数千年にわたって伝承されてきた多くの無形文化遺産もあり、彼女たちは今でも北京城の大通りや路地や、千家万戸で独特の魅力を発散しており、世界各地の人々を吸引し、触れ、味わい、体験し、抱きしめ、耳を傾ける…彼女たちは北京の魂、思想、審美である；彼女たちは北京城の包容、友好、情熱である；彼女たちは北京城の知恵、誇り、幸福である；彼女たちは最も生き生きで真実の北京の生活である。

北京市は現在、国家級無形文化遺産代表性プロジェクト144件、市級代表性プロジェクト273件、区級代表性プロジェクト1000件近くを有する。本北京無形文化遺産アルバム冊には、代表的な14件の代表性プロジェクトをピックアップしてご紹介する。これらのプロジェクトはそれぞれ：金漆象嵌、花糸象嵌、景泰藍、玉彫、宮毯、彫漆、京繡、兔兒爺、昆曲、京劇、太極拳、便宜坊北京ダック、張一元ジャスミン茶、同仁堂漢方医薬文化である。

一冊の本で、不思議な無形文化遺産の旅を始めましょう！

北京、お待ちしております！

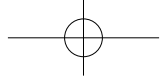




目次

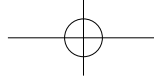
無形文化遺産

01	金漆象嵌	01
02	花糸象嵌	07
03	景泰藍	13
04	玉彫	21
05	宮毯	25
06	彫漆	31
07	京繡	37
08	兔兒爺	43
09	昆曲	49
10	京劇	57
11	太極拳	65
12	便宜坊北京ダック	71
13	張一元ジャスミン茶	79
14	同仁堂漢方医薬文化	87



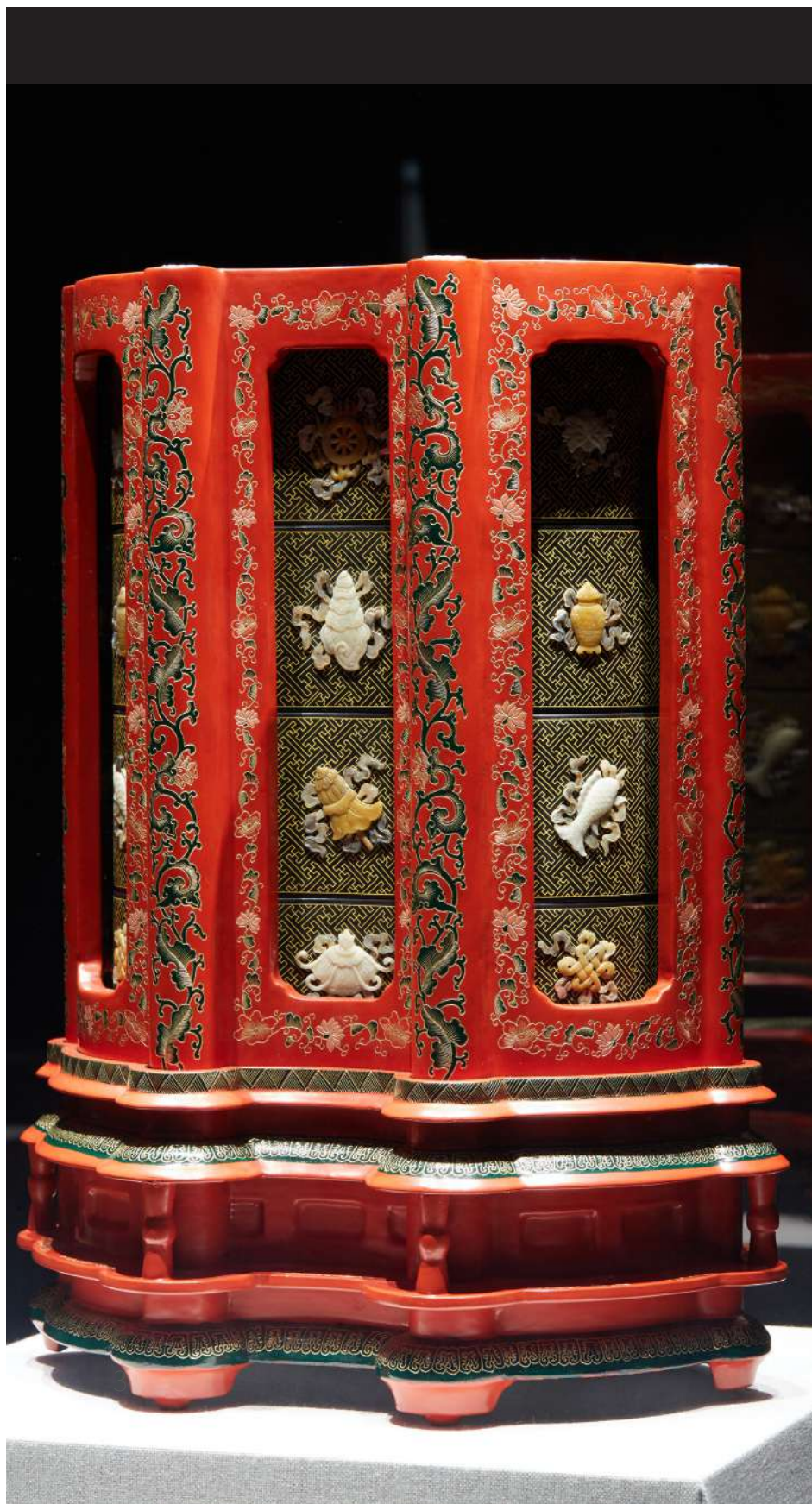
金漆象嵌

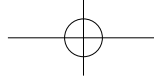
器物に華麗な衣を着せる



漆の元

中国の漆芸は8000年の歴史がある。北京金漆象嵌は中国伝統漆器の重要なジャンルである。



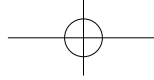


複雑な細工

金 漆象嵌の製作過程は天然の大漆を下地にして、玉石、螺鈿などを用いて象嵌を行い、設計、木胎の製作、漆胎の塗飾、雕刻彩色上絵、象嵌灰彫及び漆細工等を含めている六大プロセスで百近くの工程がある。



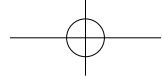




光る器物

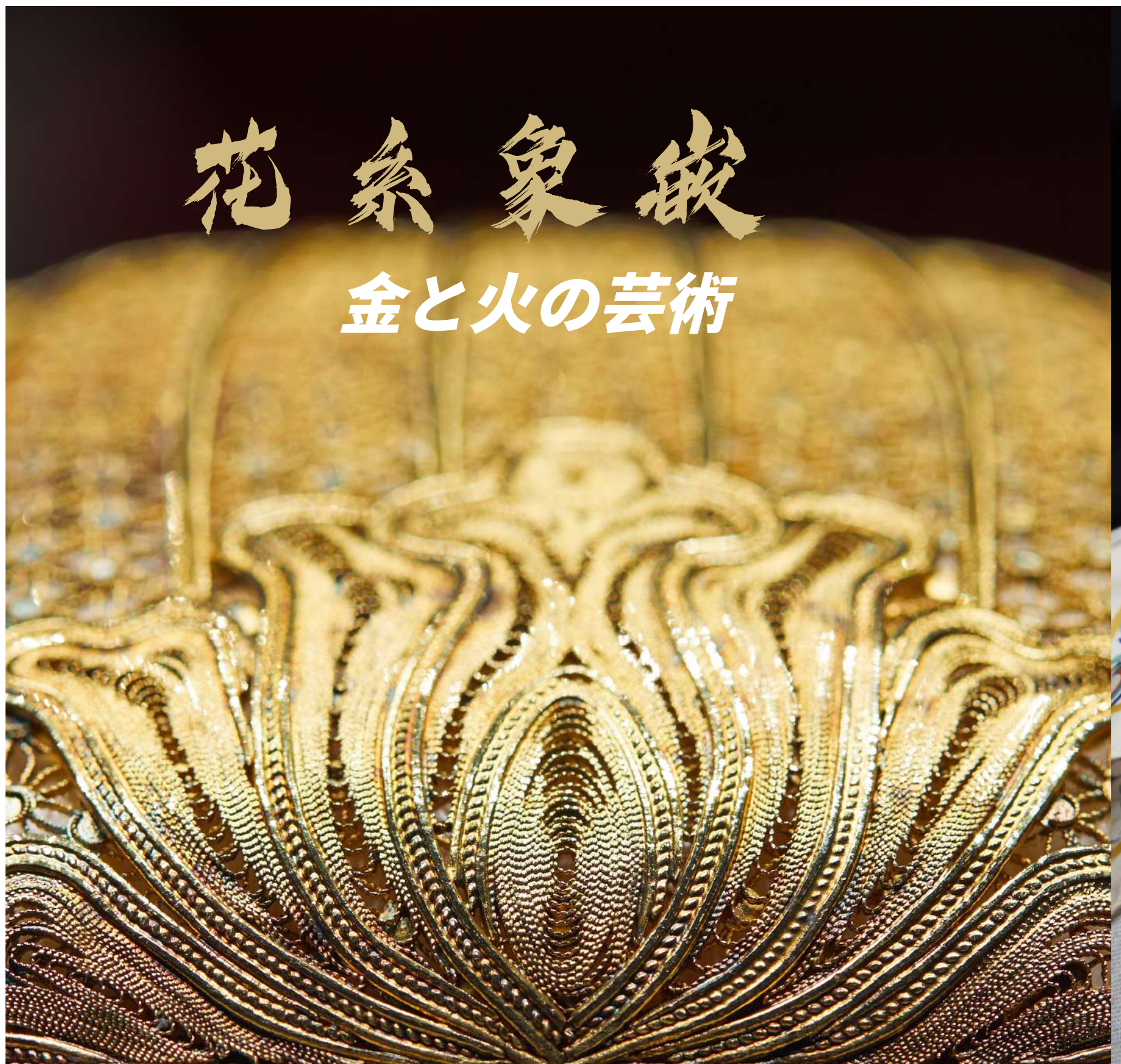
金 漆象嵌細工は皇室の器具、屏風、横額、机と椅子及びお皿箱に多く用いられ、完成品は光り輝くさまで、おっとりして華やかであり、皇室のすばらしい勢いを体現しており、濃厚な「京の味」も持っている。





花系象嵌

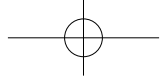
金と火の芸術





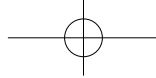
皇室の贅沢品

花 糸象嵌は、「細金細工」とも呼ばれ、春秋時期に始められた。今まで2000年余りの歴史がある。古代にこの細工は主に皇室のアクセサリーの製作に用いられた。



芸のピーク

花系象嵌は、「花系」と「象嵌」の2つの製作芸を組み合わせたものである。花系とは、金、銀を引き抜いて細い糸になって、積み上げたり、編んだりして製作された工芸品である；象嵌とは、金、銀の薄切りを器に打ち付け、そして文様を刻んで宝石を象嵌したものである。花系象嵌は世界の貴金属及び宝飾加工のピークの芸である。





髪の毛よりも細い

金 や銀などの金属を引き抜いて得た最も細い花糸であり、髪の毛よりも細いである。



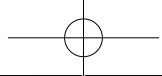




景泰藍

世界で最も美しい藍



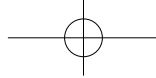


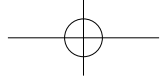


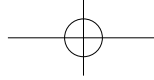
最も美しい藍色

景 泰藍芸は明の景泰年間にそのピークに達し、用いられた琺瑯釉は主には藍色であるため、「景泰藍」と呼ばれる。



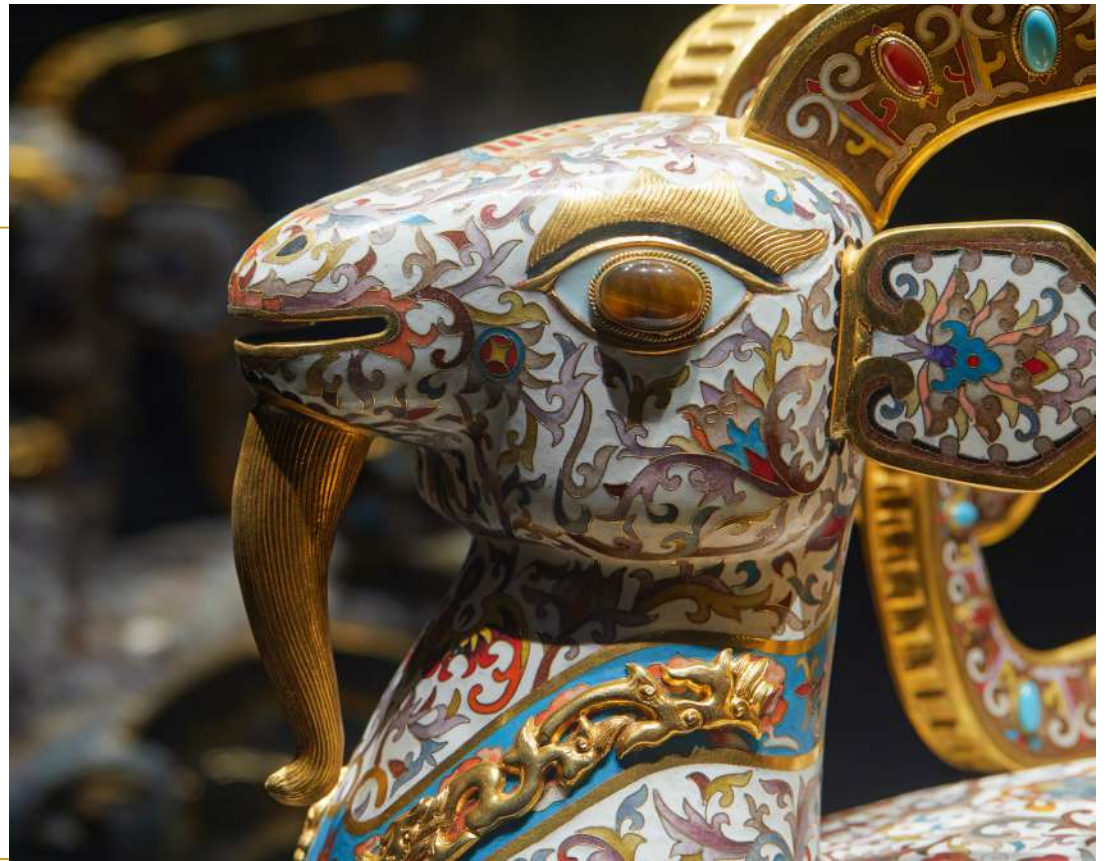


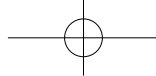




極上の細工

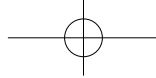
景 泰藍は銅質の胎型の上に、
軟らかい平べったい銅糸を
用いて、様々な模様を作って貼り付
け、琺瑯質の釉薬をその模様の中に
充填して焼き上げたものであり、そ
の製造細工は非常に複雑で多くて、
同時に青銅細工、磁器細工、伝統絵
画、及び彫刻芸なども含まれてお
り、中国伝統工芸の集大成と呼ばれ
る。

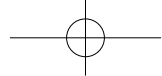




宮廷の芸術

景 泰藍は玉石の温润、宝飾の
光沢、磁器の繊細さ、金銀
の燦爛を兼ねている。一つの宮廷の
芸術として、景泰藍は古代中国でず
っと権力と地位の象徴で、よく国の
贈り物として外国の元首、要人に贈
られる。





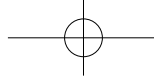
玉彫

精神の追求の代表

中国独自の芸

玉彫は中国独自の芸であり、最も古い彫刻品種の一つでもあり、今まで7000年の歴史がある。





玉琢かされば器を成らず

中国には「玉琢かされば器を成らず」ということわざがある。その意味は「玉は磨かなければ器物には成らない。人は教育を受けなければ人材になれない」ことである。中国人にとって、美しい玉石や玉器はもちろん重要であるが、粗い原石から磨かれていく過程は、芸そのものを超越することに、より大きな意味を与えている。



君子のファッション

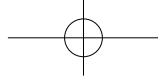
中国古代では、「君子は玉をつけて、理由がなければ身を離さない」という風習が一時流行した。玉をつける目的はいつも自分を警戒して、道德修養と品格は玉石のようにしたたかで謙虚であるべきである。



宮毯

足元のソフト黄金





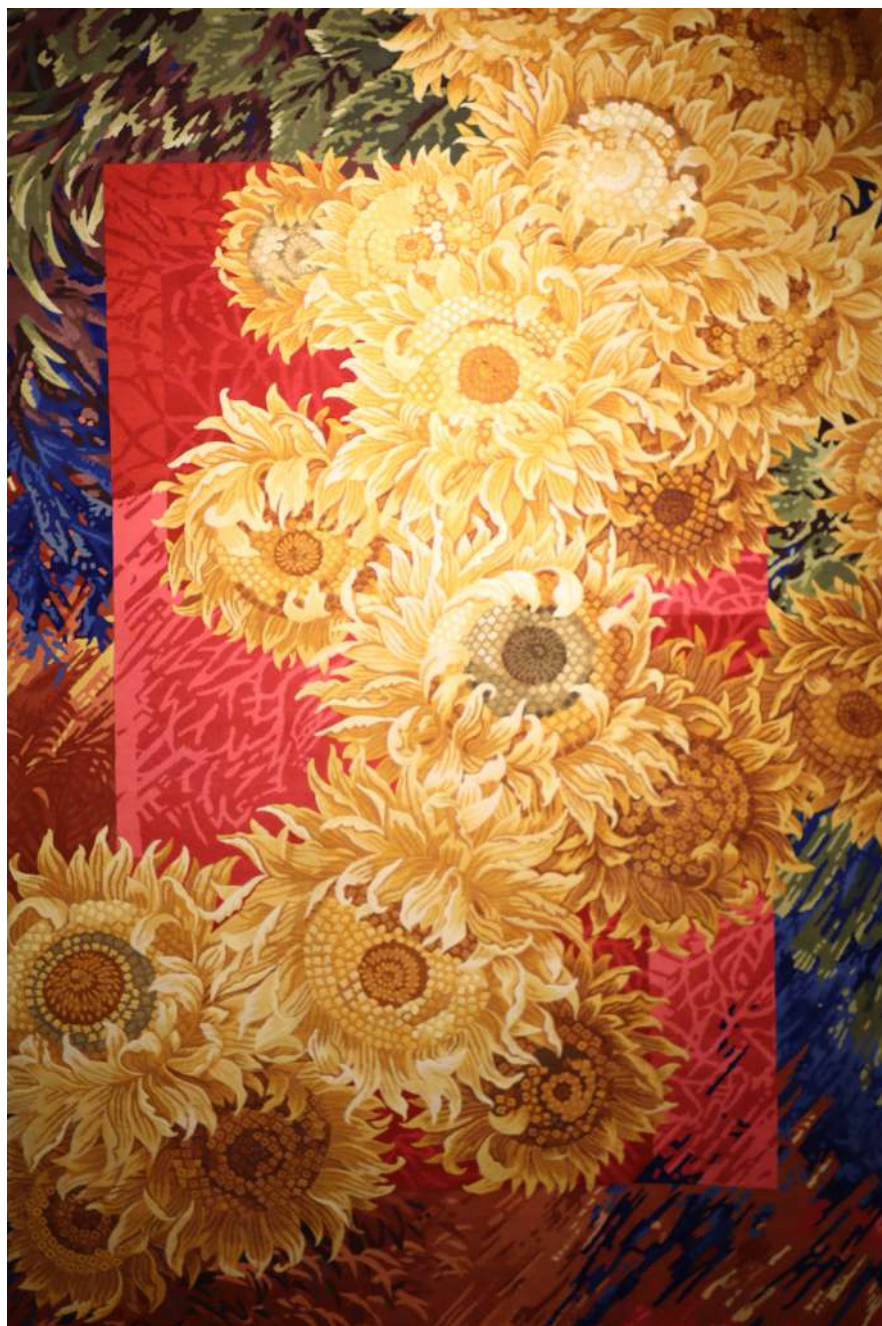
宮廷御用

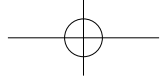
中国の絨毯編みは、2000年余りの歴史がある。宮毯は寧夏から起源で、元の時代から皇宮の御用品になった。



宮廷製作

清 朝では、宮廷に絨毯製作の専門機関が設けられ、紋様の作成から編物の製作まで皇室が取り仕切った。





磐金系毯

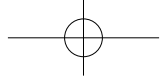
清 朝の官坊毯の中で最も高級な種類で、もつぱら皇宮で使用された。それは金箔切りを1ミリの太さの糸に切って、それに絹糸を絡めて編んだ絨毯である。





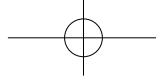
周 漆

時間の芸術



歴史が長い

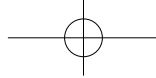
彫 漆は「剔紅」とも呼ばれ、
隋唐時期に始められた。今
まで1400年余りの歴史がある。

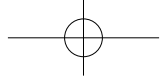


彫刻細工が優れ

彫 漆とは、天然の漆材を漆胎
にある程度の厚さで塗っ
て、積み上げた平面漆胎に刀で模
様を彫る芸である。彫漆の芸は多様
で、平彫もあり、大量の浮彫、透か
し彫や立体円彫などもある。







時間の芸術

わずか1ミリの厚さの漆を20層近く
も塗る…一つの作品が何年もかか
ったこともある。

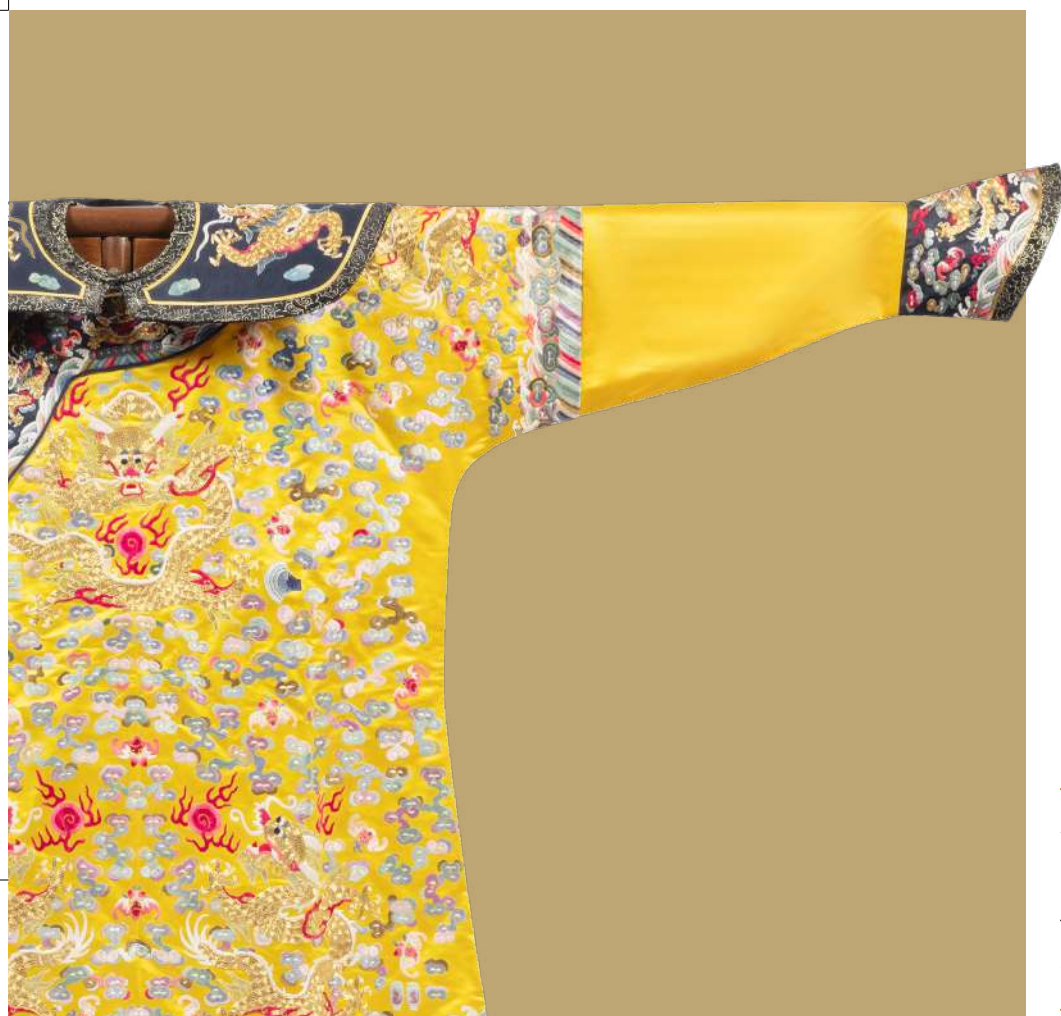
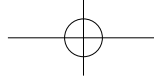




京 繡

皇室ハイエンドカスタム

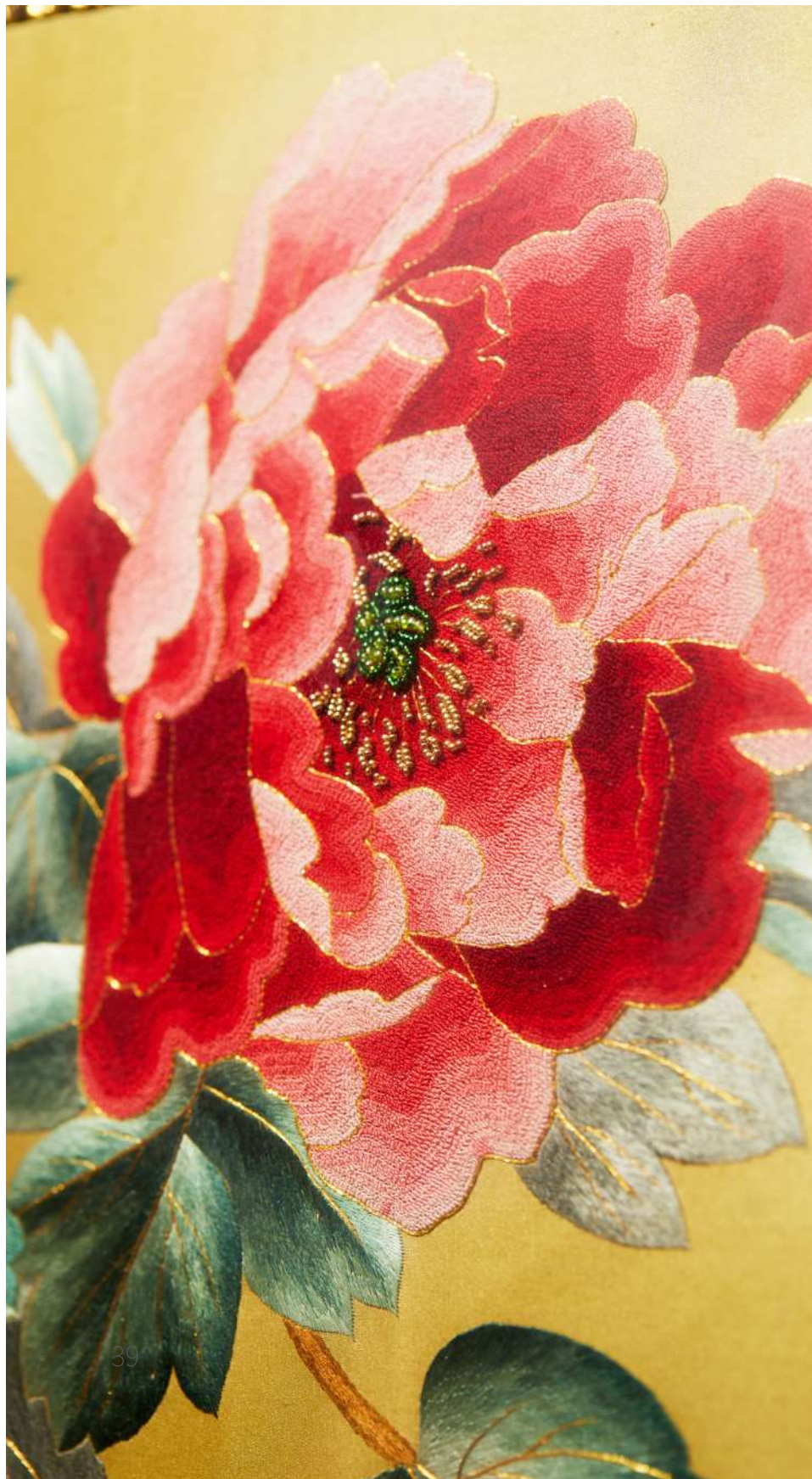
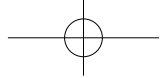




皇室御用の芸

京 繡は宮繡とも呼ばれ、早くは隋代までさかのぼり、元代から宮廷に奉仕した。

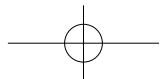


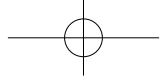


吉祥で素晴らしいです紋様

京 繡の紋様は明清時期の宮廷紋様として有名で、題材が豊富で多彩で、「図には必ず意味があり、紋が必ず吉祥である」の趣旨に則り、濃厚な宮廷芸術の息吹がある。例えば山水花鳥、龍鳳の図案及び吉祥八宝等、これらの図案は寓意が素晴らしいだけでなく、面白さも非常に深いである。









色にも意味がある

京 繡に用いられている色は主に黒、
黄、赤、藍の四色である。黒は
玄、黄は権、赤は喜び、藍は貴しという
意味がある。



兎児爺

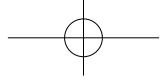
物語があるウサギ

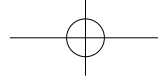
月からの天使

昔々、京城で疫病が流行したとき、月の中に1匹のウサギがいて、天宮の薬剤師であり、このウサギが人間界に来て、疫病を払ってくれたと伝えられている。人々は彼を記するために、泥でウサギの特徴がある人型を作り、「兎児爺」と親切的に呼んでいる。





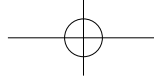




幸運をもたらすウサギ

中国の伝統によると、中秋節には月を拝む風習があり、毎年中秋節になると、北京の子供たちは兎児爺をプレゼントにもらい、平安と吉祥を願っている。



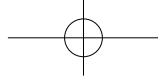


兎児爺の標準的な服装

伝 統的なイメージの兎児爺は頭に金兜をかぶり、身に甲冑をまとい、背中に令旗や戦旗を立て、大蛇袍、大蛇帯、海水江崖の服装をまとい、手に薬白玉杵を持ち、威風堂々、正々堂々、文武両道に優れている。今日の兎児爺はイメージと機能の面ですべて革新があつて、現代的な要素を溶け込んで、若者に愛される。







昆曲

最も古い戯曲





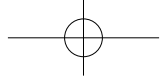


最も古い戯曲

昆曲は14世紀の中国昆山から起源され、今まで600年余りの歴史がある。古代ギリシアの悲劇、インドの梵劇と並んで、世界三大最も古い戯曲と呼ばれる。





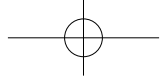


最も東方の美を備える

昆

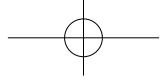
曲の境地が美しい、扮装が美しい、言葉が美しい、情景が美しい、節弁が美しいである。欧米の多くの学者は中国の昆曲を最も東方芸術の美を体現する典型的な代表と呼んでいる。





中国初めの世界級無形文化遺産プロジェクト

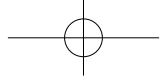
2001年に昆曲はユネスコの「人類の口承と無形遺産の代表作」に指定された。





京剧 最中国





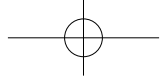




最中国

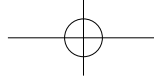
京 劇は、単に「Beijing Opera」というだけではなく、中国では200年近くの歴史があり、中国で最も代表的で影響力のある戯曲である。





最豊富

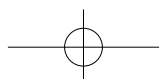
京 劇は歌う、読む、
する、打つ」など
の4つの基本芸が含まれて
おり、生旦淨醜の4つの扮
装があり、舞台のイメージ
を創造する芸術手段が非常
に豊富である。



最直観

その通りで、京劇の隈取は「フェースブック」である:装飾性と誇張性に富んだ芸術イメージを通じて人物の性格と容貌の特徴を表現する。例えば赤面には良い意味があり、忠勇を表す。



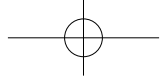




太極拳

最も優雅な 中国カンフー





陰陽から起源

太

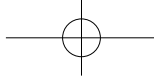
極拳は陰陽説を魂とする拳法であり、陰陽説は中国古代の哲学思想の精髓である。

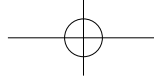




調和統一

太 極拳は「人と自然」の調和統一や、「体と心」の調和統一を追求する。

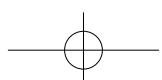




体操ではない

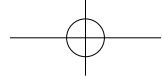
太極拳は「柔を以て剛を制す、静を以て動を制す」ことを重んじ、動作がゆっくりと見えるが、これは体操でもダンスでもない、本当の中国カンフーである。







便宜坊 北京ダック 「アンティークダック」の伝説







おいしさの秘密

便宜坊北京ダックは、外がカリッとしていて、中が柔らかくて、味がおいしいである。そのおいしさの秘密は「蒸し焼き調理法」にある。



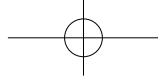




北京ダックを食べることに もこだわりがある

料 理人が切ったダックの肉は「一切れずつでも皮も肉もあって、薄くて碎けない；数種類のソースや刻みネギ、きゅうりの短冊などを添えて、パンケーキに巻かれている。





張一元ジャ スミン茶 10000本のジャスミ ンの驚きの美しさ

一杯ごとのお茶が新たな始まり

花の香りが漂うこのお茶は、1900年に誕生した。「張一元」と名付けられるのは、「一元の再開、万象の更新」の意味である。



一杯ごとのお茶 に誠心誠意

彼女のお茶の香りは早春に摘まれた珍しい緑茶からである；彼女の花の香りは、夏の午後に摘まれたつぼみのジャスミンの花からである。春の緑茶が最もよく、夏の午後のつぼみの含水量が最も少なく、花粉の濃度が最も高いである。







一杯ごとのお茶には1万本のジャスミンの香りが漂いる

緑茶1斤につき1万本のジャスミンの愛を込めて抱きしめられる。香りをより強くするために、何度も抱擁して、伝統芸で、これは「マンホール花」と呼ばれる。

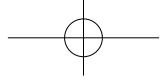






同仁堂

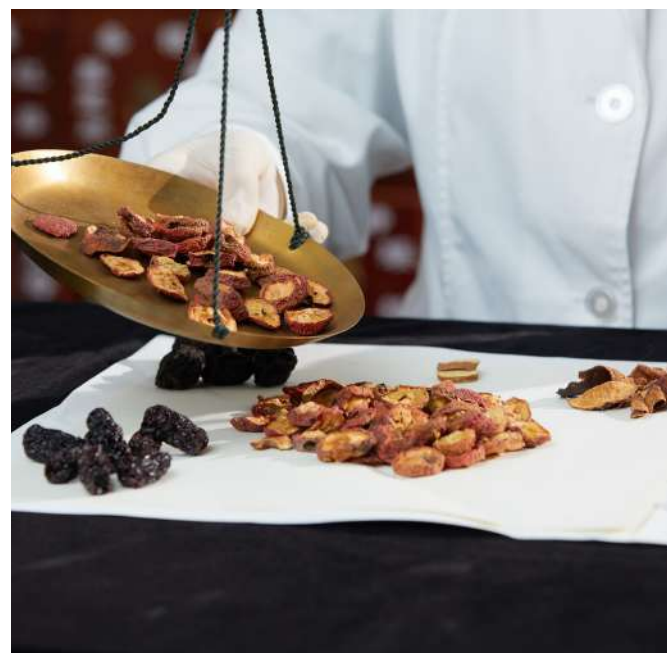
百年一日のごとく

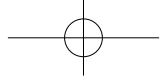




300年の伝承

同 仁堂ブランドは1669年（清の康熙8年）に創業し、今まで350年余りの歴史がある。





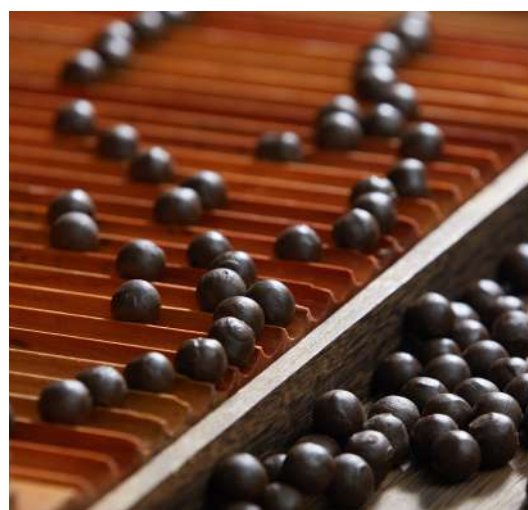
清宮の御薬

同仁堂は1723年（清の雍正元年）から清宮に御薬を供えて、
八代の皇帝にわたって、188年間にもおよんだのである。

（同仁堂漢方薬の海馬、鹿鞭などは人工養殖品である。）







10件の無形文化遺産

同 仁堂には10件の無形文化遺産（国家級3件、市級1件、区級6件）があり、伝統芸、製法、漢方医文化などが含まれている。



主 編：楊爍

副 主 編：龐微 林亮

執行主編：魏戎 張遷

統 括：王紅彥

編 集：溫凱 李茜

設 計：麥葉

版 式：北京動心時刻文化傳媒有限公司

出 品：北京市文化觀光局

